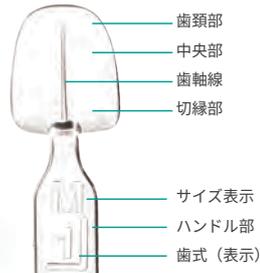




ユーベニア™

ダイレクトコンポジットベニアプレートシステム



- 自然かつハイクオリティなコンポジット修復が可能
- 酸化未重合層を防ぐことができ、ツヤのある表面に仕上がり
- テンプレートは透明のため、テンプレート越しに光照射が可能
- お好みの CR を使用可能
- 1 歯の修復から多数歯の修復まで対応可能
- オートクレーブ可能なため繰り返し使用可能

ユーベニアは、オーストラリアの女性歯科医師 Dr. Sigal Jacobson により開発されたダイレクトコンポジットベニアのためのテンプレートシステムです。前歯部において審美性が高くチェアタイムを抑え、コストパフォーマンスも考慮したコンポジット修復を行えないか…と臨床で悩んだ結果、テンプレートシステムを考案しました。様々な患者の QOL (Quality of life) に対応するには、材料と治療方法の選択が重要となります。その中でユーベニアは生まれました。ユーベニアは審美歯科治療での重要なモックアップや補綴物（ポーセレンベニアなど）のテンポラリー、シェード選択時に簡易的に充填する場合など多様な用途にご使用いただけます。



1. 術前



2. プレップ後



3. 試適



4. エッチング



5. 充填



6. 光照射



7. 充填直後



8. 術後

出典：協宗弘先生



UVKV2 ユーベニア キット

販売名：ユーベニア／一般的名称：歯科用充填器／
一般医療機器／医療機器届出番号：13B1X10086000066



Technique Guide テクニックガイド



1. 適したコンポジットレジン
のシェードを選択します。そ
して、ユーベニアテンプレ
ートのサイズ及び歯式を確認し、
適用する歯に最適なサイズ（歯
面全体を覆うサイズ）を選択
します。



2. 使用前にう蝕が見られる場合
は、う蝕の処置を行います。



3. 歯科用マトリックスを隣接歯
面に装着し、ウルトラエッチJ
もしくはご使用のエッチング
材を用いて歯面のエッチング
処置を行います。



4. エッチング材メーカーの指示
に従いエッチング材を洗浄し
ます（ウルトラエッチJの場合
15秒放置後水洗）。



5. 水洗後、ボンディング材を塗
布します。ボンディング材塗
布に関しては各メーカーが推
奨するステップに従ってくだ
さい。



6. ご使用の照射器の使用方
法に従い、光照射を行いま
す。VALOを用いた場合、スタ
ンダードパワー（10秒）で照
射します。



7. ステップ1で選択したベー
スタイプコンポジットレジ
ンを歯面に塗布します。



8. 光照射をせず、ユーベニア
テンプレートを置く前に少し形
態を整えます。



9. 塗布したコンポジットレジ
ンに本品の凹面を押し当てて、
親指でしっかり中に残った空
気を押し出します。ユーベ
ニアテンプレートが歯全体をカ
バーしているか再度確認しま
す。コンポジットレジンの量
が足りない場合はここで調整
します。



10. ユーベニアテンプレートの
歯軸線を参考にして位置、傾
きを調整します。



11. マージンラインや隣接面か
ら余剰のコンポジットレジ
ンを除去します。



12. テンプレートの上から光
照射します。VALOを使用する場
合、各2mmレイヤーにつき、
スタンダードパワー（10秒照
射×1~2回）、ハイパワー（4
秒照射×1~2回）、エキ
ストラパワーモード（3秒照射×1
~2回）を推奨します。他社光
照射器を使用する際は、各メ
ーカーの推奨をご参照くだ
さい。



13. テンプレートハンドル部を
持ち、テンプレートを外した
後、必要に応じて最終照射を
行います。



14. 光沢面に触れないように注
意しながら周辺部の余剰コン
ポジットレジンをファイナ
ーを用いて取り除きます。隣
接面など調整が必要な場合は
研磨用ストリップスを用いて
整えます。歯面の光沢が足り
ない場合は、Jiffy研磨シ
ステムを用いて最終研磨を行
います。



15. 使用后、テンプレートは
速やかにアルコール綿で付着
したコンポジットレジンなど
を完全に拭き取ります。乾燥
後、滅菌袋に入れて高圧蒸気
滅菌にて滅菌処理します。使
用方法に関しては、添付文書
を熟読してください。

テンポラリーベニア：ダイレクトコンポジットベニアと同じステップですが、エッチングは部分的にスポットで行います。

また、ご使用のテンポラリーセメントなどを併用してください。

モックアップ：ダイレクトコンポジットベニアのステップ中の形成、エッチング、ボンディングを除き行います。



出典：石部元朗先生